

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 28 年 10 月 25 日

設置・運営主体	狭山市		
設置主体			
経営主体	社会福祉法人 青柳保育会		
事業所名 (施設名)	青柳保育園	種別	保育所
所在地	〒 350-1301 埼玉県狭山市青柳317-3		
電話	04-2954-3850		
FAX	04-2954-6925		
Email	info@aoyagihoikuen.com		
URL	http://www.aoyagihoikuen.com/		
施設長氏名	黒田 賢志		
調査対応担当者	黒田 賢志 (所属、職名：青柳保育園 園長)		
利用定員	60名	開設年	昭和 48 年 5 月 1 日
理念・基本方針			
<p>保育理念</p> <p>・人間を形成していく過程の子どもは、よい環境の中で育てられなければなりません。その子どもにとってよい環境とは何かを、保護者と一緒に考えていきます。一人一人を大切に、自分(自分たち)の力で未来を切り拓いていく意欲と主体性をもった子どもを育てていきます。木に例えれば、これから大きな幹を成し、枝を伸ばし、よい実のなるために必要な、大地にしっかり広がる根っこの部分を育てていきます。</p> <p>保育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康な子ども ・個人として、また集団として、遊びや生活を積極的に作り出していき意欲をもつ子ども ・美しさ(心、自然、物音、雰囲気など)を感じ取れる子ども 			
開所時間 (通所施設のみ)	7時00分から19時00分まで		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	7	1		2.5
1歳児		12	1		3
2歳児	6	12	1		2
3歳児	48	12	1		1
4歳児		13	1		1
5歳児		12			
計	60	68	5	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		16人	
うち	保育士	14人	保健師・看護師 0人
	栄養士・調理員	2人	その他（ ） 0人
非常勤職員数		10人（常勤換算 人）	
うち	保育士	0人	（常勤換算 0人）
	保健師・看護師	0人	（常勤換算 0人）
	栄養士・調理員	2人	（常勤換算 0.7人）
	その他（事務員、用務員、指導員）	7人	（常勤換算 2.5人）

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 3人	非常勤： 5人
	退職	常勤： 4人	非常勤： 4人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		40歳	（ 41歳）
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		8.4年	（ 9.6年）

（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	別紙『必要となる費用』参照
休日保育	×	—
障害児保育	○	—
一時保育	○	別紙『必要となる費用』参照
地域子育て支援センター	×	—
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)	×	—
アレルギー等対応給食	○	—
その他(事業名: 子育て相談、パレットルーム、園舎園庭開放、赤ちゃんの駅)	○	無料

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 27 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

4 人

・ボランティアの業務

中学生社会体験事業(保育士体験)	ふれあい運動会の手伝い
------------------	-------------

【実習生の受け入れ】

・平成 27 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 5 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	1080.3 m ²
	児童1人あたり 18 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	1036 m ²
	児童1人あたり 17.3 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火
	耐震
(4) 建築(含大改築)年	平成 1年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・ 父母会と打ち合わせたうえで、次年度の園に対する要望等を取りまとめ、事業に反映させている。
- ・ ご意見ポストを設置し、直接申し出にくい方でも意見が出しやすくしている。
- ・ 新年度説明会にて、園の過ごし方や決まり等を説明する際に、質問、相談等を受け付けている。
- ・ 年2回のクラス懇談会で、各担任がクラスの様子を伝えるとともに、意見、要望、質問に答える。
- ・ 年1回の保育参加(参観)、面談、給食の試食会を設け、意見を聞く時間を設けている。
- ・ 第三者評価を3年おきに実施し、よりよい事業運営に反映させている。
- ・ 苦情相談窓口、責任者を定め、適切に対応する。
- ・ 第三者委員を設置し、当事者間で解決が難しい場合にも対応できる体制が取られている。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・ 自然体験のある保育(林あそび、日和田山登山、園庭草木、花、果実収穫等)
- ・ 育児担当制(乳児)保育(緩やかな担当制により、穏やかで安心できる園生活を目指す)
- ・ 異年齢の関りを大切にする保育(縦割りクラスでの活動がある)
- ・ わらべうたあそびのある保育(楽器を使わず遊びながら鼓動、リズム、音程、社会性を育む)
- ・ 手作りの遊具がある環境(子どもに合わせて保育士が手作りする遊具が豊富にある)
- ・ 行事食のある保育(日本の文化を伝えるとともに、子どもが楽しめる多様な食事形式がある)
- ・ 離乳食、乳児食、幼児食と、段階を踏んだ食事の提供。(1対1の抱っこ食べから始まる食育)
- ・ 個々に合わせた生活ができる日課を取り入れた保育。
- ・ 保護者、地域との関りを大切にする、ふれあい運動会の開催。
- ・ 毎月の誕生会の開催。
- ・ 月2回程度の英語あそびの実施。(4・5歳クラスのみ)
- ・ 月1回程度のサッカーあそびの実施。(5歳クラスのみ)
- ・ 生活発表会の開催。
- ・ 月1回程度のお料理作りの実施。(3歳以上)
- ・ 高齢者との関りがある保育。(ひな祭り会で祖父母を招待しての、発表会、食事会など)
- ・ 生き物の飼育体験ができる保育。(ウサギ、メダカのお世話)
- ・ 当番活動のある保育。(下の子のお世話をする、自分のことは自分たちです。)
- ・ 課業のある保育(わらべうた、文学、体育、数、環境認識、美術)
- ・ 毎日体操を行う。(最低限の運動保障、身体部位の名称、指示を聞き体を動かす)
- ・ 青柳祭りの開催。(地域参加型行事で、子どもを地域の中で見守って頂く)
- ・ 卒園児合宿の実施。(卒園してからも育ちを見守り、いつでも相談にのることができる居場所となる)
- ・ 畑のある保育園。季節の作物を栽培し、収穫する。また、収穫物を調理して食べる体験をする。
- ・ 積み木あそびを大切にする保育。0歳から積み木に触れる。年1回の積み木あそび指導がある。

【第三者評価の受審状況】

・ 受審回数(前回の受審時期)

3 回 (平成 25 年度)